

甲山っ子だより

令和2年5月27日
学校だより第2号
世羅町立甲山小学校

学校がいよいよ再開します！
子どもたちの元気な姿を待っています



5月20日（水）から始まった自主分散登校の間、登校してくる子どもたちは、友だちと笑顔で話したり、楽しく遊んだりして過ごしました。「前の日からわくわくしていました。学校に来て最高です。」「久しぶりに友だちに会えてうれしかったです。」などと、子どもたちは話していました。

1日3時間の学習等を落ち着いて集中してがんばり、学校再開に向けた心と体の準備期間にもなったことと思います。

こうした子どもたちの姿を見ると、毎朝決まった時刻に起き、荷物を持って登校し、あいさつを交わし、学校で友だちや先生と過ごす、そんな「当たり前なこと」が子どもたちにとって「大切な日々の営み」であることをあらためて感じたところです。



一斉下校は運動場で間隔をとって行っています

さあ、いよいよ6月から学校が再開します。子どもたちが元気に学校生活のスタートを切り、楽しく、意欲をもって日々の学習や運動に取り組んでいけるよう、職員一同、尽力していきたいと考えています。

一方、このたびの感染症の予防については、引き続き、取り組んでいく必要があります。そこで、学校では次に挙げるような取組を進めていきたいと思ひます。どうぞご理解ご協力をいただくとともに、ご家庭におかれましても感染症予防に今後ご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

★★★ 学校再開にあたり ★★★



学校では、「3つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」（裏面『新しい生活様式』の実践例）参照）を取り入れ、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障していきたいと考えています。

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」（文部科学省）を参考に、子どもたちの命と健康を守るために、右に挙げたような取組を行います。

子どもたち、そして、みんなの命を守るために

1 学校生活での基本

- ① 検温及び健康観察の取組を毎日継続します。
- ② マスクの着用を継続します。

登下校時を含め、学校生活では基本的にマスクを着用します。但し、給食中は除きます。また、運動場での休憩や体育の運動では、健康上の配慮としてマスクを外すようにします。

●●● お願い ●●●

- * 給食などで外したマスクは、巾着袋に入れるようにします。マスクを入れるための巾着袋をご用意ください。また、マスクへの記名を必ずお願いします。
- * 清潔なハンカチ・ティッシュを毎日持たせてください。

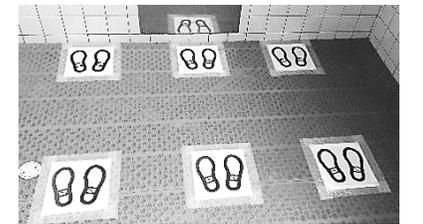
- ③ 指導を行いながら、手洗いを日々励行します。（石鹸を使って30秒間）

手洗いの6つのタイミング



- ④ 人との間隔をあけます

教室や手洗い場、整列時等、人が集まる際は、間隔をとるようにします。教室では1mを目安に最大限の間隔をとるようにします。トイレでは、床に貼った足型ごとに待つ（写真右）、時間を分けて行くなどして、密集を避けます。



- ⑤ 換気を十分に行います。

2 給食

衛生的な服装、発熱や下痢等の症状の有無を確認します。また、食器等に多数の人が触れないようにするために、給食の準備・片付けはセルフで行います。（以下は手順です）

- ① 机等の消毒を行う。（教師）
 - ② 給食当番は食缶等の運搬と配膳のみを行う。（低学年配膳は教師）
 - ③ 児童は足型に合わせて並び（写真右）、自分の食器等を運ぶ。
 - ④ 全員前向きで、会話をしないで食事をする。
- ※ごみの捨て方等について随時指導します。



3 授業

児童同士が長時間、近距離で対面したり、一斉に大きな声を出したりする等の活動は、可能な限り避けるようにします。

理科、音楽、図工、家庭科、体育では、密集したり身体が接触したりするなどの「3つの密」を避け、必要に応じて時期を変更して実施するなど配慮します。

4 その他の活動

多数が集合したり、異学年が集まったりする活動は原則行わず、必要な場合は形態を工夫するなどして行います。(全校朝会→学級朝会 異学年掃除→学級(分散)掃除など)

トイレの掃除は手袋を着用して行います。

用具や物品の共有はできるだけ避け、児童同士の貸し借りは行いません。



5 校内の除菌・消毒

児童の下校後、毎日校内の除菌・消毒をします。特に、多くの児童が触れる箇所(机、ドアノブ、手すり、スイッチ等)や共用物品などは入念に行います。

★ご家庭におかれましても、お子様の毎日の健康状態を十分に観察・把握していただくとともに、不要不急の外出を控える、家族ぐるみ等の交流による接触を控えるなど、引き続き、細心の注意を払っていただくよう、よろしくお願いいたします。また、免疫力を高めるため、「十分な睡眠」「適度な運動」「バランスの取れた食事」にもご配慮ください。

★今後は、熱中症対策も必要となってきます。水分補給のため、必ず水筒を持たせてください。



(参考) 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020年5月4日)から抜粋

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本: ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽・スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク